

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	あんま・はり等助成事業			会計	款	項	目	大	小
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保険年金課				
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		主管課長	今野 忠光				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	60歳から75歳未満の流山市国民健康保険被保険者	意図	施術料補助金の支給により、被保険者の健康の保持増進を図る。
事業内容	60歳から75歳未満の被保険者が、あんま・はりの施術を受ける際、年間24枚の利用補助金（1枚500円、年度途中から申請があった場合は申請月から月2枚換算で年度末3月までの枚数）を発行する。			
事業開始から現在までの状況変化	後期高齢者医療制度が発足した平成20年度から、75歳以上の被保険者が後期高齢者医療制度に移行したため、平成20年度の利用者は減ったものの、その後毎年微増となり、平成25年度以降は減少している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	施設利用券交付枚数	8,482	7,774	7,872	枚	↑↑↑
②	施設助成金使用枚数	3,108	3,048	3,268	枚	↑↑↑	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
後期高齢者医療制度が発足した平成20年度から75歳以上の被保険者が後期高齢者医療制度に移行したため、平成20年度の利用者は減った。その後微増が続いたものの、平成25年度以降は減少している。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,834,148	2,783,350	2,884,088
事業費(b)(円)	1,667,098	1,642,310	1,763,448
うち一般財源	1,667,098	1,642,310	1,763,448
職員給与費(c)(円)	1,167,050	1,141,040	1,120,640
人役・職員(人)	0.17	0.17	0.17
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	利用者の増加があった場合には、制度の見直しなどについて検討を行う。	③取組における課題(Check)	利用形態の適用適正化を図る。
②H30に実施した取組(Do)	利用者の増加が見込まれなかったことから、現状どおり事業を実施した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	利用形態などのチェック機能を強化し、適正な事業運営を図っていく。